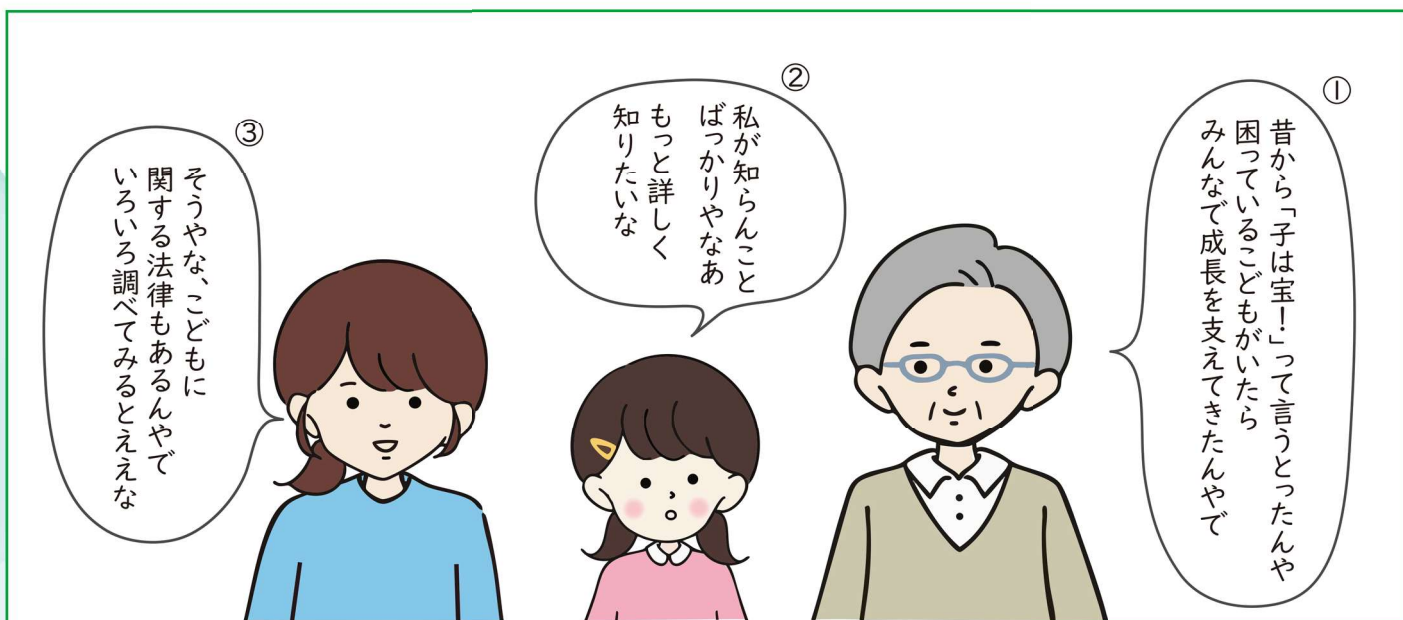
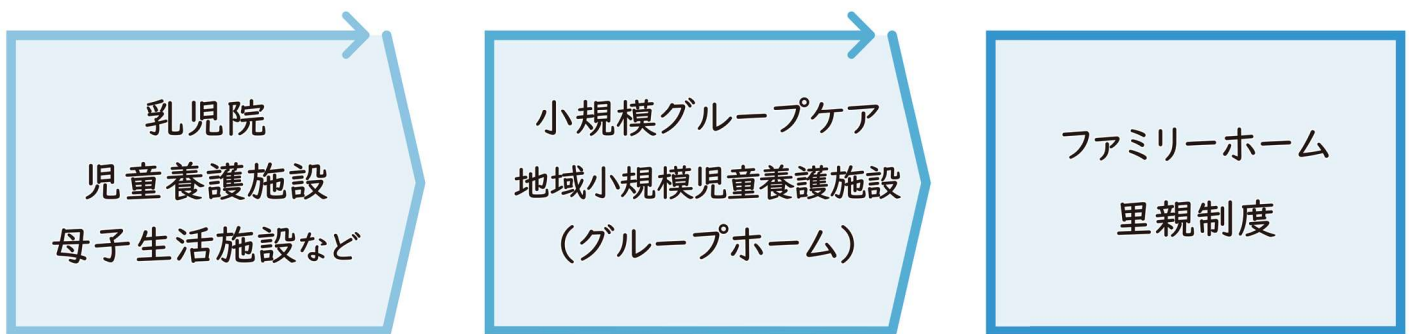


社会全体で支える



社会には、虐待や貧困、死別など様々な理由で保護者と暮らせず、児童養護施設など社会的養護のもとで暮らしているこどもたちがいます。そして、成人となり、自立したが、家族などのサポートを得られずに生きる人（ケアラー）もいます。社会的養護の現状や実態を知る人は少なく、世間からの無理解と偏見にさらされ、居場所を見い出せず、進学や就職など生きる上で様々な困難に直面している現状があります。次世代を担うこどもたちが自分らしく幸せに成長でき、暮らせるように、社会全体で支えていかなければなりません。

社会的養護の仕組みは？



より家庭的な環境に

施設で暮らすこどもたちの悩み

家族と暮らしたかったけど
できなかったことが辛い

何かの拍子に過去の
ことを思い出す

参観日に親がいないこと

親と暮らしていないことを
友だちに知られたくない

18歳過ぎてからの生活や
相談できる人がいない
ことの二重の不安

就職面接で施設出身と
伝えることの不安

18歳以上の施設出身の人たち
(ケアラー)の不安解消の
ための相談や交流場所

施設での生活を余儀なくされた子ども
たちが、偏見や差別を感じていること
に対して社会全体の問題として考えてい
かないといけません

相談専用窓口

こもれび
ひょうご自立支援相談・交流拠点

身近で相談できる窓口

宍粟市人権推進課
宍粟市社会福祉課

